

# げんでんつるが

特別号  
2014年9月  
第33号

日本原子力発電株式会社

## 敦賀発電所敷地内の破碎帯調査に関する有識者会合 第4回追加調査評価会合での議論の状況について

平成26年9月4日、第4回追加調査評価会合が開催され、前回の会合で有識者から示された見解に対し、当社から、詳細なデータを示し説明しましたが、有識者からは、自らの見解の根拠や具体的な理由が示されず、十分な議論を尽くすことができませんでした。

### 【評価会合での議論の状況】

#### ◆最新のデータ<sup>(※1)</sup>を盛り込んだ資料を排除し、議論が行われた。

会合の冒頭、突然、規制庁事務局へ事前に了解を得ていた最新データの資料が排除され、6月16日までに提出した資料<sup>(※2)</sup>のみで議論が進められた。



評価会合として判断する上で極めて重要な最新データの資料を排除したことは、科学的な議論とは言えないと考える。



第4回追加調査評価会合の様子

#### ◆有識者は、自らの見解における根拠や理由を示さなかった。

当社は、有識者から示された論点について、十分な科学的データと証拠を示し議論を試みたが、有識者は自らの見解の根拠や具体的な理由を示さず、当社の説明を省略させるなど、偏った議事進行により、議論を打ち切った。

次回以降の会合において、最新のデータを含め十分な説明を行い、議論を尽くしていきたいと考える。

(※1) 最新のデータ…「地層の堆積年代」と「K断層の活動時期」を特定するために補強したデータ

(※2) 第2回追加調査評価会合（6月21日）に際して、事前に提出した資料

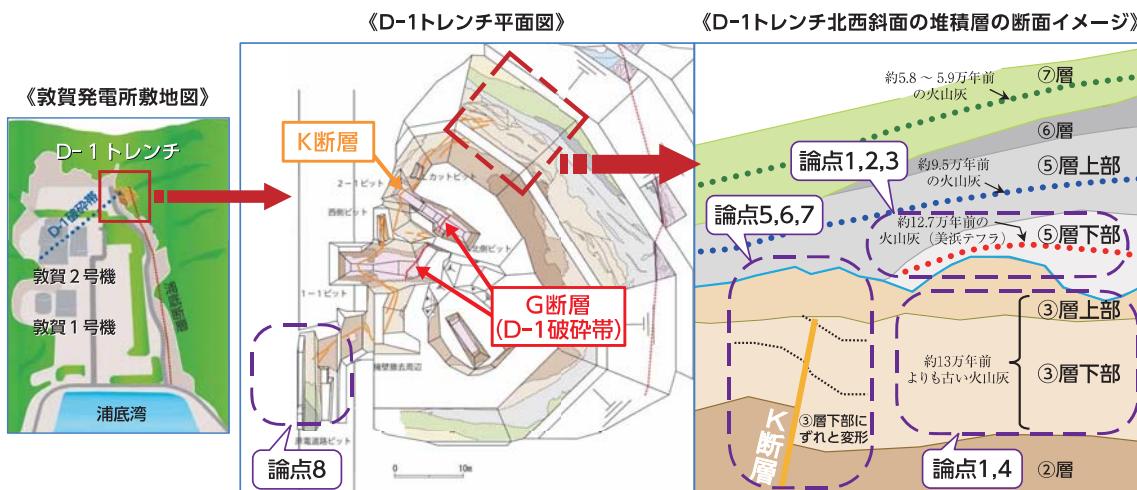
【詳細は裏面を参照】

十分に議論が尽くされていない状況で、  
「評価書案」が議論されるのは時期尚早である。

- ：議論を行い共通の結論に至った論点
- △：議論は行われたが有識者側の見解の根拠や理由が示されていない論点
- ：議論が行われていない論点

## 評価会合における説明のポイントと議論の状況

	前回会合で有識者が示した見解	当社の説明（評価）のポイント	議論の状況	
論点1	③層と⑤層は、静穏な環境下で堆積したものではなく、上載地層法 <sup>(※1)</sup> が適用できる地層ではない。	K断層の活動性評価を行う上で重要となる③層と⑤層は、堆積構造が確認できるため、上載地層法による評価ができる地層である。	-	議論をしないまま、次の論点に移った。
論点2	⑤層下部の火山灰（美浜テフラ）は、自然に降り積もったものではない可能性がある。	火山灰（美浜テフラ）は自然に降り積もり、⑤層下部に堆積したものである。	△	
論点3	⑤層下部の火山灰（美浜テフラ）がいつ降灰したのかは厳密に特定できない。	琵琶湖湖底で確認されている12.7万年前の火山灰（美浜テフラ）と同じであることを確認している。	△	
論点4	③層は、古くても12～13万年前で、12～13万年前以降の可能性もある。	③層からは、12.7万年前の火山灰（美浜テフラ）は検出されず、敦賀湾のボーリング調査による火山灰と比較した結果、12～13万年前よりも古い。	△	十分な議論を行わず、有識者側の見解の根拠や理由も示さないまま、議論を打ち切った。
論点5	K断層上端部分は、12～13万年前の地層まで伸びている可能性がある。	入念な測定・観察により、K断層の上端は③層下部までであることが確認されており、最新活動時期は13万年前より前である。	△	
論点6	K断層が活動したのは、複数回の可能性がある。	K断層について、多くの箇所で状況を入念に測定・観察した結果、1回しか活動していない。	△	
論点7	K断層のずれの方向は、逆断層だけではなく、横ずれの方向もある。	断層のずれの方向等の観察から、K断層は、逆断層 <sup>(※2)</sup> である。	○	当社の評価を説明し、有識者も同意した。
論点8	K断層は、D-1破碎帯につながっている可能性がある。	D-1破碎帯とG断層は正断層で、つながっている。K断層は逆断層で、D-1破碎帯とはつながっていない。	△	十分な議論を行わず、有識者側の見解の根拠や理由も示さないまま、議論を打ち切った。



(※1)  
上載地層法とは、破碎帯を覆う地層の年代を特定することで、破碎帯の活動時期を判断する方法です。



破碎帯は後期更新世以降(12万～13万年前以降)に動いていない。  
⇒将来活動する可能性のある断層等ではない



破碎帯は後期更新世以降(12万～13万年前以降)に動いている。  
⇒将来活動する可能性のある断層等である

(※2)  
断層のずれの方向



逆断層



正断層



日本原子力発電株式会社 敦賀地区本部 業務・立地部

お問い合わせ先 〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 TEL 0770-25-5713 (土日祝日を除く9時～17時)

当社ホームページに「D-1破碎帯は活断層ではない」とする当社の調査結果を解説した動画を掲載しています。（<http://www.japc.co.jp>）